

バス・タクシー・鉄道等の確保・維持政策の新展開―

公共交通計画制度とその運用の改革

～道路運送法・活性化再生法等の改正と独禁法対応策

―自治体・交通事業者等の新しい役割とMaaS推進施策―

- [国交省] 地域公共交通の確保・維持政策の展開と法制度見直しの方向性
- 交通政策審議会・地域公共交通部会中間とりまとめと制度・運用改革の方向
- 小田急のMaaS戦略―日本初・共通データ基盤MaaS Japanと自治体・事業者等との連携
- 次世代交通サービスMaaSと暮らしの足確保に向けた地域協働の進め方

2020年1月27日(月) 10:30～17:25 剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)

- 【講師陣】 原田 修吾 氏／国土交通省総合政策局地域交通課長
 中村 文彦 氏／横浜国立大学副学長
 国土交通省交通政策審議会地域公共交通部会長
 吉田 樹 氏／福島大学経済経営学類准教授
 国土交通省交通政策審議会地域公共交通部会臨時委員
 藤垣 洋平 氏／小田急電鉄株経営戦略部次世代モビリティチーム ※講演順は裏面をご覧ください

- 会 場：剛堂会館・会議室
 東京都千代田区紀尾井町3-27
 (案内図は申込後送付)

- 参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一 般	35,000円	34,000円

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が
 悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替:00110-8-81660 口座名:株地域科学研究会

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
 (FAX・郵送・メール等)。

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします
 (受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送し
 ますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日
 受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
 地域科学研究会

東京都千代田区平河町2-3-10ライオンズ平河町101
 TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0093
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 年 月 日

□研修会『公共交通計画制度とその運用の改革』への参加 ※メディア参加はございません

勤務先

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名：

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
10:30 ～ 11:30	1. 地域の移動を担う交通手段の確保・維持に向けた国の動向について ～地域交通をめぐる現状・課題・施策の方向性～ 国土交通省総合政策局地域交通課長 原田 修吾 氏 1. 地域公共交通を取り巻く現状・背景 2. 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 (1)これまでの地域公共交通に関する政策について (2)地域公共交通に関する計画制度について 3. 地域公共交通活性化再生法等の見直しについて 【質疑応答】
11:40 ～ 13:25	2. 次世代交通サービスMaaSと暮らしの足の確保に向けた協働の進め方 ～自治体と交通事業者等の連携－交通サービスの開発と運営～ 福島大学経済経営学類准教授 吉田 樹 氏 1. MaaSと暮らしの足－地域モビリティの課題整理 2. 協議システムで「できない」を「できる」に－対話プラットフォームのつくりかた 3. 次世代交通サービスは暮らしの足の救世主か？ ～交通サービスの選択肢、スモールスタートの重要性～ 4. モビリティと空間の協調－これからの公共交通計画 ～線的サービスと面的サービスの「秩序」が公共交通計画の鍵に～ 5. 公共交通データのオープン化－オープン化はイノベーションの契機 ～文化も作法も異なるモード・事業者を「束ねる」ために～ 6. 公共交通マーケティングとプライシング ～公共交通は「経験財」、そのマーケティングを考える／MaaSの構築で多様化するプライシング～ 7. イチゼロ思考からの脱却－得意分野を活かして裾野を広げる ～求められる「創発」の場づくり～ 【質疑応答】
14:25 ～ 15:50	3. 共通データ基盤「MaaS Japan」で実現できるMaaSアプリ＆サービス ～小田急電鉄のMaaS戦略と自治体・事業者との連携～ 小田急電鉄㈱ 経営戦略部次世代モビリティチーム 藤垣 洋平 氏 1. 小田急電鉄がMaaSに取り組む背景 2. MaaSの捉え方 3. MaaSアプリEMotのご紹介 4. 共通データ基盤「MaaS Japan」のご紹介 5. 今後の展開 【質疑応答】 「MaaS Japan」は、小田急電鉄が株式会社ヴァル研究所の支援のもと開発している MaaS の実現に必要なデータ基盤で、鉄道やバス、タクシーなどの交通データや各種フリーパス・商業施設での割引優待をはじめとした電子チケットの検索・予約・決済などの機能を提供するものである。このデータ基盤は MaaS アプリへの提供を前提とした日本初のオープンな共通データ基盤として、小田急電鉄が開発する MaaS アプリだけでなく、他の交通事業者や自治体等が開発する MaaS アプリにも活用できるものとしている。
16:00 ～ 17:25	4. 近未来の地域交通とそれを支える計画制度の方向性 横浜国立大学副学長 中村 文彦 氏 1. 地域交通の論点と課題 (1)環境問題、交通事故 (2)高齢者等社会的疎外の視点 (3)自家用車への過度な依存の見直しの必要性 2. 近未来の地域交通の革新に向けて (1)注目すべき技術動向の視点 (シェアリング・自動運転・MaaS) (2)地域の近未来を考えていくべき視点 (持続可能性、創造性、多様性) (3)交通の革新を考えていくべき視点 (Walkable, Reliable, Enjoyable) 3. 計画制度の現状と論点 (1)交通計画の枠組み (2)公共交通計画の枠組み (3)環境政策や福祉政策等の連携の枠組み 4. 制度とその運用の改革の方向性 (1)交通政策審議会地域公共交通部会での中間とりまとめ (2)短期的そして長期的な観点での残された改革の課題の整理 【質疑応答】